

令和6年度第1回堺市学校給食安全衛生運営会議 会議録

日 時	令和6年6月17日(月) 午後2時30分～午後4時00分
場 所	堺市役所高層館20階 第1特別会議室
出 席 者	委員：加瀬委員、金岡委員、河井委員、有田委員、中野委員、前園委員 事務局：教育委員会事務局職員 傍聴者：0名
案 件 等	1 学校給食の概要および実施状況について 2 給食費の考え方について 3 令和6年度の活動内容について
資 料	1 堺市学校給食安全衛生運営会議開催要綱 2 令和6年度委員名簿 3 学校給食の概要および実施状況について 4 給食費の考え方について 5 令和6年度年間計画(案) 6 令和6年度実地確認票(案)
会 議 内 容	
金岡委員	<開会> <委員の紹介> <u>1 座長の選出</u> 加瀬委員でいかがでしょうか。
出席委員	<了承>
加瀬座長	金岡委員を職務代理に指名します。
事務局	<u>2 学校給食の概要および実施状況について</u> <資料に基づく説明>
加瀬座長	質問がある方は挙手でお願いします。 資料の量が多いので、質問は次回までに事務局に届けてもらうという方法でも良いかと思います。 牛乳のストローレス対応は結局やめたんですね。

金岡委員	<p>大阪市では、うまくできていると聞いています。業者によってミシン目の大きさが違うなどでしょうか。PTAの方は見たことがありますか。</p> <p><事務局から PTA 協議会の中野委員・前園委員にストローレス容器実物を提示></p>
加瀬座長	<p>大阪市の業者を調べてみたら良いかもしれないですね。紙のストローについては、考えていないのでしょうか。</p>
事務局	<p>紙製のストローについては、コストがかかり、ごみの削減にはならないため、ストローを使わずに飲む方法として、開封して直飲みするというのに、他市の学校給食では取り組まれているところになります。</p>
加瀬座長	<p>それでは、他市などの状況を調べてみるのが良いと思います。</p>
金岡委員	<p>食物アレルギーの対応について、この度大きく変更されましたが、現場からの意見はどうですか。また、給食を提供する側からすると、子ども達だけでなく、クラス担任の先生方にアレルギーについてどれだけ理解していただいているのか、アレルギーの事故は、先生のチェックミスや、先生自身のアレルギーの知識が少ないことが原因で起こる場合もあるので、先生方への研修、ガイドラインの使い方など、現場の先生方も不安があると思いますので、その辺りもどのように対応されているか、特に保護者の方もアレルギーはすごく心配されていると思いますので、教えていただければありがたいです。</p>
事務局	<p>今回アレルギー対応を変えたことで、学校現場からの声として、全員が同じ対応になるため、対応の煩雑さが減り、わかりやすく、対応しやすくなったという声をいただいています。一方で、保護者の方からは、今まで多段階で対応できていたので、一部食べられる場合も給食では対応ができなくなったことについて、もう少し細かく対応して欲しい、という声があるのは事実ですが、学校生活を安全に過ごしてもらうためということでご説明させていただいています。</p> <p>先生方への研修ですが、特に教室で配らないものを配ってしまうケースが多いので、「学校給食における食物アレルギー対応 教室編」というものを当課で作成し、研修資料として配布し、年度はじめの職員研修で活用いただいています。また、先生方が自席で見ることができるよう</p>

	<p>にパワーポイントに声を吹き込んだ動画の研修資料も作成し、いつでも見ることができるようにしています。</p> <p>また、学校給食で食物アレルギーの対応が必要な子がいることを、クラスの子ども達にも知ってもらうことができるように、パワーポイントの資料を作成し、食物アレルギーというのはどんなものなのか、給食での対応の内容について、子ども達への指導に使ってもらっています。</p> <p>また、昨年の秋に、教職員の先生方に集まっていただき、今回の食物アレルギー対応の変更点について説明しました。保護者向けに変更点についての説明動画も作成し、周知しました。新年度が始まる前の2月に、再度教職員の先生方に新年度からの対応について周知するとともに、先ほどお話しした動画の研修資料などを活用していただけるようしっかりとご説明させていただいています。</p>
金岡委員	<p>ペーパーだとなかなか読むのも大変ですが、パワーポイントに音声が入っていると、分かりやすいと思います。どうもありがとうございます。</p>
	<p><u>3 給食費の考え方について</u></p>
事務局	<p><u><資料に基づく説明></u></p>
加瀬座長	<p>この給食安全衛生運営会議では、何を決めればいいのか。何かを決めていく場合には、それに対する考え方を示しておかないと言いつ放しに終わるのではないかと思うが、運営会議に、この給食費については何を求めていますか。</p>
事務局	<p>前回堺市が給食費を設定した際に、庁内の委員会の中で給食費の設定をした経緯があり、その時に保護者の方や市民の方のご意見をしっかりと聞いたうえで給食費の設定を行っていくようにという意見がありました。その意見を踏まえて、今回運営会議の場に図らせていただきました。給食費を設定するにあたり、献立方針や、金額のことも含めて、広く意見をいただけたらと考えています。</p>
加瀬座長	<p>何かを決定するのではなく、意見の聴取をするということですね。</p>
事務局	<p>A 案、B 案、C 案を事務局から提示していますが、A 案が望ましいんじゃないか、C 案もこんな点が優れているからいいんじゃないかなど、そ</p>

	ういったご意見をいただければと思います。
加瀬座長	委員の皆様には、忌憚ない意見をご発言いただけるでしょうか。
河井委員	示された A 案、B 案、C 案を、栄養価などや、先程示された資料で比較すると、C 案が一番充実しています。栄養価についても一番広がりも大きくバランスの取れた内容になっていると思います。A 案が良いという方はあまりいないのではないかとというのが正直な気持ちですが、ただ堺市の予算や支出の部分で、削減できるところが何かないのか、そういう部分を探していくのか、今までの衛生的な安全の担保が必要以上になされているなどがないか、そのようなところを変えていき、支出の部分を減らすことで、結果的に C 案に近づけるようなことになっていくのかどうか。 今は具体的に A 案、B 案、C 案という形での提案ですが、これをもって、どのように我々が意見を出していくのか、材料というかポイントがなかなか絞れないという気がしています。
加瀬座長	今の A、B、C の案はすべて献立から考えたということですが、今言われたように検査費用などを別に回すことができるのか、そんなこともアイデアとしてはあるのかなと思いますので、また、ご検討していただきたいと思います。
金岡委員	栄養価とボリュームを見たら、C 案ですが、実際給食費を支払う保護者の皆様からすると、どのあたりが落としどころになるのかなと。 これから 30 円の補助が入って、実際の支払金額は 30 円下がるというイメージで良いのでしょうか。
事務局	先ほど申し上げたのは、今年度の物価高騰対策として 30 円の支援をしているというものです。今この場では、今の献立方針に基づく給食の必要額について、ご意見をいただきたい。
金岡委員	実際には無償化しているところもありますので、なかなか一概には言えないですが、栄養価の充足率、添加物の回数、牛肉の回数と言われると、C 案が一番良いと思いますが、そこにも限りがあるのかなというのを感じております。やはり一番は保護者の方のご意見が大切だと思います。

事務局	<p>内容の補足をさせていただきますと、小学校の必要額の案をお示していますが、小学校の中学年の案になっています。今実際に保護者の方にお支払いいただいているのは、250 円、そこに市の補助で 30 円負担しており、合計 280 円の給食を提供しています。それが先ほど示した案で、令和 7 年度は今物価が上がっている状況を踏まえると、今小学生中学年が食べている給食は 288 円ないと作れませんが、保護者負担という視点で言うと、250 円しか負担していただけていない。例えば、C 案になると 300 円を補助がない場合は保護者の方にご負担いただかないといけない内容になっています。さきほどお示した献立方針案に沿って、内容を充実させればそれだけ金額が高くなりますが、給食に求めることと、保護者が負担する額としてどの程度までが妥当な許容範囲なのか、その辺り保護者視点でのご意見等をいただけたらと思っております。</p>
有田委員	<p>今は物価がすごく上がっていて、スーパーに行ったら保護者の皆様もお分かりだと思うんですが、食材の値段がすごく上がっています。値段を据え置いても内容量が減らしてあったりして、実質値上げされているので、食材費が上がっていることは保護者の方もご理解いただけたらと思います。円が安いので、当面輸入食材もどんどん値上げされており、そのようなことも新聞やテレビでも報道されているので、食材費が上がるのはご理解いただけるのではないかと私は思います。</p>
前園委員	<p>C 案が一番いいと思うんですが、小学校の給食は子ども達が配膳するので、たくさん食べる子はおかわりして食べています。それを踏まえると小食な子は A 案でもいいのではと思います。自分の子もおかわりしない子だったので、それを踏まえると、A 案でも余ったら食べる子はおかわりして食べると思うので、A 案でもいいのかなと思います。</p> <p>中学校は選択制になっていると思うのですが。</p>
事務局	<p>中学校は、今は選択制ですが、全員喫食制になると、小学校と同じで食缶で配膳されることになります。中学校の全員喫食制は来年の 6 月から開始になります。</p>
中野委員	<p>金額に関しては、10 円 20 円変わっている。内容が栄養価のグラフでもかなり違うので、10 円 20 円の差で内容がかなり変わるのであれば、C 案が良いかなと思います。</p> <p>和食の良さを分かる献立を考えていただいているのですが、毎回和食</p>

事務局	<p>と牛乳なのですね。お茶はダメなのでしょうか。</p> <p>牛乳については、学校給食法で主食・副食・牛乳とそろって完全給食と規定されており、カルシウムの重要な栄養源となっています。これから子ども達が成長していくにあたり、カルシウムは非常に重要な栄養素になっていますが、夏休みなど長期休み中には家庭ではカルシウムが非常に不足するという調査もあり、学校給食で1日の半分くらいのカルシウムを取れるようにとの摂取基準も定められており、牛乳を摂取することで、しっかりとカルシウムの摂取を促す目的があります。ご飯と牛乳が合いにくいというご意見もありますが、子ども達は、最初に牛乳を飲んでおいたり、最後デザート代わりに牛乳を飲む子もいたりするなど、子ども達の方は案外慣れているようです。</p>
金岡委員	<p>牛乳をつけないとカルシウムの摂取量は全く足りなくなってしまう。カルシウムを摂取するために毎回魚となると、とてもこのような金額で給食を作ることはできないですし、今10代がカルシウムの摂取するピークなんですね。20代、30代でガクッと摂取量は落ちます。また、50代を過ぎると心配になってきてカルシウム摂取量が増えるというのが今の日本の傾向で、一番骨が育つ時期に摂取しておかないと、骨粗鬆症も増えていく。そうすると骨折や寝たきりが増えていく。介護の負担が大きくなる、というようなライフサイクルを考えると外せない部分はあるかなと、栄養学の立場からはそう考えます。ご飯を食べるための牛乳ではなく、栄養を取るという意味で、ご飯とは別に飲んでいただいてもいいとは思いますが、そこを外して充当するような献立を立てるとするのは、かなり難しい。例えばちりめんじゃこを必要量入れると塩分がすごく上がります。いつも給食に牛乳が必要かどうかは議論になるのですが、栄養の面からは牛乳を外すことは難しいと思います。</p>
加瀬座長	<p>牛乳は、和食には合わない、しかし、給食でお昼に取るという発想になるかなと思います。</p> <p>この件に関しても、一度持ち帰っていただき、いろいろと意見いただいて、また次回お話ししていただくということになると思います。さっき他市の状況で資料に出ている額も積算根拠は同じなのでしょうか。献立を見て作った額になりますか。</p>
事務局	<p>各市それぞれの考えがありますので、市によって違うかもしれません。子ども達への給食という考え方については、各市大きくは変わらない</p>

	<p>のではと考えます。</p>
加瀬座長	<p>府内の中の必要経費で千早赤坂村の経費が非常に高いのは、住んでる人の数が少ないことが原因でしょうか。この表はさきほどおっしゃったように保護者の負担額ではなく、1食当たりの必要額ですよ。そうすると、安いところは、高いところと比べると、千早赤坂村を抜いたとしても100円以上の差があるということで、何かの根拠で算出されているということですね。献立で考えているのか、それ以外も入っているのかちょっとわからないということですね。</p>
事務局	<p>千早赤坂村で言いますと、地産地消に盛んに取り組んでおられますので、そういうことが原因かもしれないですが、献立の内容も各市で全く違いますので、それぞれの市の考えがあるので違いが出ると思います。</p>
加瀬座長	<p>他市の額があると非常に混乱するというか、どうしてこんなに安くできるのか、こんなに高くなるのか、良い食べ物を食べているのかなどいろいろ推測が入ってくるという気がします。堺市はちょうど真ん中くらいになるんですかね。</p> <p>運営委員会としては、幅広い意見を出すということが目的ということになっておりますので、一度持って帰っていただき、こんなことを聞きたいなどを次回持ってきていただいて、事務局にお尋ねしていただきたいと思います。</p> <p>この件については、次回にも引き続き議論をするということで次に参りたいと思います。</p> <p>続いて今年度の活動方針について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><u><資料に基づく説明></u></p>
加瀬座長	<p>それでは、全体に対してご意見・感想ありますでしょうか。</p>
河井委員	<p>どのように献立を決めているのか全く知らなかったのが、非常に参考になりました。基本は栄養バランスを考えながら、金額を決めていくということがわかり勉強になりました。</p>
金岡委員	<p>本日もすごく丁寧な資料を作っていただき、丁寧なご説明ありがとうございます。1年間保護者の皆様とも一緒に学校給食をより良いものに</p>

	<p>するように意見を出していけたらと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
有田委員	<p>次回からまたよろしくお願いいたします。</p>
前園委員	<p>勉強させていただきました。1年間よろしくお願いいたします。</p>
中野委員	<p>1年間よろしくお願いいたします。資料はしっかり作られていると思いました。</p>
加瀬座長	<p>これで本日の議題はすべて終了しました。事務局に進行をお願いします。</p>
事務局	<p>次回もこの資料の中身で気になるところなどありましたら、事前に何でも結構ですので、事務局の方にお問い合わせください。このような資料が欲しいなどあればお答えできる範囲でお答えしたいと思います。堺市で特徴的にお金を使っている部分があるのであれば、とご意見いただいておりますので、その辺りも安全・安心のために、この部分には経費がかかっていますという資料を用意したいと思いますし、全国と比べてどうかという発言をいただいたのですが、先日令和5年度の全国の状況が出ており、物価が上がっている中で参考になるかどうか難しいところではありますが、全国的にはこういう位置にあるんだということでお示しできれば、もう少しご意見をいただきやすくなるのではないかと思いますので、その辺りの資料もまた事務局で用意させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>これで第1回堺市学校給食安全衛生運営会議を終了いたします。</p> <p><閉会></p>